



世界に希望を生み出そう

東京新都心ロータリークラブ
【よく見て、よく聞いて、よく話そう】

Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー 東京11階

TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554

HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org> E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp

会長 伊豆隆義 幹事 吉田寿人 創立 : 1988年9月21日

「私が経験した外交（フランスを中心として）」

元フランス大使・中国大使 木寺 昌人 氏



私は東京新都心ロータリークラブの浅利隆文さまとのご縁で講演の機会を頂戴しました。

私は新宿区立西戸山小学校、新宿区立西戸山中学校、都立戸山高校卒業で東京新都心ロータリークラブのお膝元で育ちました。海外では祖国を思い浮かべて仕事をしますが、私の日本のイメージは美しい富士山や桜の花ばかりでなく、新宿の街を思い起こすことがしばしばありました。新宿は私の故郷です。

外務省で44年間仕事をしましたが、最後の7年間は中国で3年半、フランスで3年半日本大使として勤務しました。

故あって在中国日本大使を拝命した2012年、日中関係は日本政府が尖閣を国の所有にしたことにより1972年の日中国交正常化以来最悪の状態でした。中国に勤務したことがない、中国語ができない、大使をしたことがない私には大きな挑戦でした。私は北京の日本大使館は敷居のない大使館だと言って官民一体となって仕事をしました。

在中国日本大使は外務省では最終ポストとされ、私もこのポストで外務省を終える覚悟でしたが、思いがけず、当時の岸田外務大臣より在フランス日本大使を拝命しました。2016年6月に着任し、2017年にはマクロン大統領が選出され、2018年7月には安倍総理の発案になる「ジャポニスム2018」と銘打った日本文化の集中的な紹介を担当しました。伊藤若冲展、縄文展、能、狂言、村上春樹の「海辺のカフカ」の上演など、フランスで350万人が何らかの形で「ジャポニスム2018」に触れました。

中国およびフランスでの大使としての経験を踏まえ、私の経験した外交についてお話し上げたいと存じます。

略 歴

木寺 昌人 (きてら まさと) 1952年 10月 10日生

1976年 3月 東京大学法学部卒業

4月 外務省入省

1977年－1979年 フランス国立行政学院 (ENA)

1993年 4月 経済協力局無償資金協力課長

1995年 7月 大臣官房 兼内閣事務官

内閣官房長官秘書官

(五十嵐広三官房長官 1ヶ月)

(野坂浩賢官房長官 5ヶ月)

(梶山静六官房長官 1年6ヶ月)

1997年 7月 在タイ日本国大使館 公使 (経済担当)

2000年 5月 大臣官房会計課長

2001年 3月 大臣官房

5月 在フランス日本国大使館 公使

(国際関係研究所IFRI)

2002年 3月 在ジュネーブ国際機関日本政府代表部 公使

2005年 9月 大臣官房審議官兼経済局

2006年 8月 大臣官房審議官兼総合外交政策局 大使

2008年 1月 中東アフリカ局アフリカ審議官

兼第四回アフリカ開発会議 (TICAD)

事務局長

7月 国際協力局長

2010年 1月 大臣官房長

2012年 9月 内閣官房副長官補

11月 特命全権大使 中華人民共和国駐劄

2016年 4月 フランス国駐劄

6月 兼アンドラ国モナコ国駐劄

2019年 12月 退官

2020年 6月 日本製鉄株式会社 社外取締役

(2022年6月より監査等委員である取締役)

丸紅株式会社 社外取締役

2021年 3月 日本たばこ産業株式会社 社外取締役

2023年10月11日(水) 第1566回例会

「私が経験した外交（フランスを中心として）」

元フランス大使・中国大使 木寺 昌人 氏

(紹介者 浅利 隆文 会員)

次回のプログラム

2023年10月25日(水)第1567回夜間例会

「創立35周年記念祝賀会」

会場：セルリアンタワー東急ホテル